

調教者/作曲/作詞：[卑屈P](#) 歌：[初音ミク](#)

やまのうえにひとがいるさまを
われをわすれる くらいみつめ
たまをみがくしょくにん のよこに
あしをぶらぶらさせてこしかける

くさきがちをはってはえている
ぶつぶつつぶやく まま ひきこもる

ひさしくなならないやまい なら
さけをすすめる のを
ひかえめにする

めでたいくも が突然
むじつのつみ の僕らを
とりのかなしげなこえ とともに
おとしあなにおとす

ものかげからきゅうにとびだして
ひとをおどろかせるときにはっするこえ に
ビックリして辺りを きょろきょろみまわす
まばたきしない まま何度も

わらおうとする と めがまわる ほどの
ブリザード で ふねがしずむ から
せまりくるあらなみ をひたすら耐えるのさ
こころがせまい 僕らだから

おおかぜのおこるさま を恐れ
こめたくわえるうつわ を守る
たけのこのつけもの が恋しくて
うしのあゆみがおそい と憤る

ぶたのこ と ぶたのはは が
豚の父を探すけど
あるきかたがただしくない から
としょかん は まぼろし

うまがすすむ うまがなやむ
うまがおとなしい うまがおもい
うまがおどる うまがはねる
うまがあがく うまをあらう
うまがおどろく うまがゆく

あごがしゃくれる と ちょっとみる だけで
クリプトン が はるつけにする から
やまがたかくけわしい ことも恐れずに
まるくないたま を見つけに行く

ものかげからきゅうにとびだして
ひとをおどろかせるときにはっするこえ は
ほねがのどにつかえる 僕の生き方を
おおわらいするさま のよう

ちらりとみる と
まっすぐにてんくうたかくとびあがる
おとりのしか と
ぎょくろのいろつやのすばらしいさま だけ
しそんがさかえる までは伝えるから